

## 9月から12月末までの取組

”世知原っ子に「夢」と「笑顔」と「達成感」を”

### ◎ 9月から12月末までに取り組むこと

#### (1) 4つのことをとおして学ぶ

<p>①授業をとおして学ぶ</p> <p>1時間1時間集中して臨ませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習規律を徹底して身に付けさせる。</li> <li>積極的に学び合い、分かりやすく美しいノートを書かせる。</li> <li>机の上を機能的に使わせる。</li> <li>基礎基本を確実に定着させる。(宿題と家庭学習の徹底)</li> </ul>	<p>②体験をとおして学ぶ</p> <p>ねらいをしっかりとつかみ、自分の力を全部出し切らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>修学旅行(9月 6年生)</li> <li>小動物との触れ合い(9月 1年生)</li> <li>小学校体育大会(10月 6年生)</li> <li>子ども浮立(10月 全学年)</li> <li>小学校音楽発表会(11月 3, 4年生)</li> <li>通学合宿(11月 希望者)</li> </ul>
<p>③交流をとおして学ぶ</p> <p>生きていく上で、人とかがわっていくことの大切さを感じ取らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サツマイモの収穫(1年生と保育園)</li> <li>委員会活動(5, 6年生)</li> <li>クラブ活動(4, 5, 6年生)</li> <li>縦割り活動, 縦割り清掃(全学年)</li> <li>老人会, 地域の人々とのイベント(全学年)</li> <li>人権集会(12月 全学年)</li> <li>おもちゃランド(12月 2年生と保育園)</li> </ul>	<p>④学校生活全体をとおして学ぶ</p> <p>よりよく生きるために、いろいろな場面で自分を磨き、輝かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分のよいところを知る。</li> <li>友達と仲良く生活する。</li> <li>生活のきまりを守り、正しく判断し、それに基づいて行動する。</li> <li>今までより、多くの本を読む。</li> </ul>

#### (2) 子どもたちががんばる10項目(今年度の重点行動目標)

- ① 毎日、気持ちのよいあいさつや返事をします。
- ② 縦割り活動や縦割り掃除を、一生懸命にします。
- ③ 友達と仲良く、楽しく過ごします。
- ④ 忘れ物をせず、道具をそろえて学習します。
- ⑤ 授業中は、友達の話聞き、発表もします。
- ⑥ 宿題などの、家庭学習を、忘れずに取り組みます。
- ⑦ 図書室などの本を借りて、たくさん読みます。
- ⑧ 廊下や道路を、安全に気をつけて、歩きます。
- ⑨ 体育の時間や、昼休みに、楽しく運動します。
- ⑩ しなければならない仕事を、一生懸命にします。



#### (3) 前期前半の反省をもとに改善すること

- ① 9月から
  - 日課表で時刻と内容を再確認する。
  - A L Tとの打合せは、事前に内容を簡潔にまとめておく。
  - 総合的な学習の時間の外部の連絡先記載を担当で作成する
  - 児童、保護者の相談や指導内容を事後に共有する。

- 児童理解支援システム、あのねカードを有効に活用する。
- 雨の日に学校の傘を貸し出す際には、貸し出し名簿に氏名、学級、傘の番号、借りた期日を記入させる。返却の際も期日を記入させる。
- 児童用トイレの入口のドアは開放しておく。(対応済み)併せて、トイレの使用の仕方について、再度指導する。
- 児童理解では、生活指導面も取り上げる。
- 名札の全員着用を目指す。
- 児童間での名前の呼び方、言葉遣いを指導する。
- 休日前日に、休日の生活指導を必ず行う。
- 来校者(保護者も含む)には、事務室で名簿に名前、用件等を記入してもらう。帰る際には、事務室に声をかけてもらう。お願いの看板を常時設置する。

#### ② 来年度に向けて

- 宿泊体験学習は6月下旬に実施する。(来年度は7月2日, 3日, 曜日は火, 水曜日)再来年度分は、来年1月に予約を入れる。(木, 金曜日に実施するためにも)
- 前期前半の「風の子タイム」は、持久走以外のものを実施する。
- 運動会用とその後の縦割り活動用の2通りの班編成をする。
- 地区児童会, 集団下校は、生活指導へ分掌を移す。
- 地区児童会の学区を見直す。
- クラブ活動の数と種類を見直す。
- 外国語活動, 外国語の指導時数を検討する。

### 3 働き方改革の観点から

「働き方改革のポイントは、指導の質を落とさず、いかに効率化を図っていくかです。」

- (1) 職員室にあるプリント集, 長崎県教育センターの「学力向上活用教材」, 東書WEBの「復習用教材」や「考察資料」, インターネットに掲載されている無料の資料やイラスト, 練習プリントなどを、授業や開知タイム, 家庭学習などに活用する。
- (2) 実態に合った校内掲示板や畑の活用をしたり, 清掃する場所と方法を検討する。
- (3) 教室及び校内の環境整備や行事, 集会などの活動内容に軽重を付ける。
- (4) 6年生の算数科の全授業時間に校長(8時間)と教頭(2時間)が児童支援として入る。
- (5) 地域の人材を活用する。(ふるさと教育も含めて)
  - ① 老人会との交流に、地区公民館で活動されているサークルにも参加してもらい、児童の交流の幅を広げる。
  - ② 5年生の社会科の工業の学習に関連して、地元の企業からGTとして講話を行ってもらう。
    - ※ キャリア教育の一環として、佐世保市教育会世知原支部に依頼して、6年生児童を対象に、地元で頑張っている人に講話を行ってもらう。(1月実施予定)
    - ※ 家庭での親子読書推進のために、入学説明会で、読み聞かせボランティアの方に、保護者向けに読み聞かせを行ってもらう。(1月実施予定)